

**製品名: CRSP77 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09427**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	73kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MED17
別名	MED17; ARC77; CRSP6; DRIP77; DRIP80; TRAP80; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 17; Activator-recruited cofactor 77 kDa component; ARC77; Cofactor required for Sp1 transcriptional activation subunit 6; CRSP complex subunit
遺伝子 ID	9440.0
SwissProt ID	Q9NVC6
免疫原	抗血清はヒト MED17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

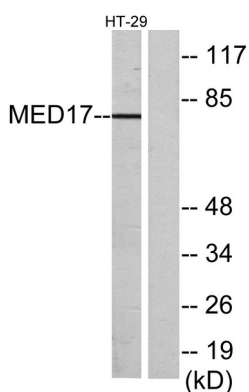
**背景**

遺伝子転写の活性化は、DNA中の転写エンハンサー部位を認識する因子によって引き起こされる多段階のプロセスです。これらの因子は、コアクチベーターと連携して、RNAポリメラーゼII装置による転写開始を誘導します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CRSP (SP1活性化に必要なコファクター) 複合体のサブユニットであり、TFIIDとともに、SP1による効率的な活性化に必要です。このタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体 (TR) 関連タンパク質など、TRと相互作用し、開始因子やコファクターと連携してDNAテンプレート上でTRの機能を促進する他の多サブユニット複合体の構成要素でもあります。[RefSeq提供、2008年7月]

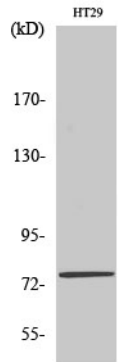
機能: メディエーター複合体の構成要素であり、ほぼすべてのRNAポリメラーゼII依存性遺伝子の転写制御に関与するコアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的な制御タンパク質からRNAポリメラーゼII転写機構へと情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNAポリメラーゼIIおよび一般的な転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。、PTM:DNA損傷時に、おそらくATMまたはATRによってリン酸化されます。、類似性:メディエーター複合体サブユニット17ファミリーに属します。、サブユニット:GATA1およびPPARGと相互作用します(類似性による)。メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、およびCDC2L6/CDK11から構成されます。MED12、MED13、CCNC、およびCDK8サブユニットは、CDK8モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを含まないメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低くなります。メディエーター複合体のうち、1つ以上の異なるサブユニットを欠く個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAPなど様々な名称で呼ばれています。STAT2と相互作用します。、組織特異性: 普遍的。、

## 研究分野

## 画像データ



MED17抗体を用いたHT-29細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CRSP77 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン ブロット分析。